

～体験・実践型学習～

あしやキッズスクエアで児童向け  
金融教材を創ろう！  
事前説明会

2022年7月20日(水)



地域戦略部

# 最初に・・・

## 私たちの思い

2020年度から新しい学習指導要領に基づき、小中高等学校では、「金融教育」の授業を学校で学ぶこととなりました。真の県民銀行を目指しているみなと銀行としては、持っている金融の知識を兵庫県にお住まいの皆様への貢献に活かしたいと思っています。この度、将来を担う甲南大学の学生の皆様のお力をお借りし、更にその後の将来を担う子ども達に向けた金融教材の開発を進めていきたいと思っています。

学生目線  
の発想



実現力



 甲南大学

  
adlibworks

 みなと銀行

# 最初に・・・

## はじめての お金の時間

使う 貯める 借りる の流れを考える

貯家の役に立つ  
お金の知識を手ぼう!

一般社団法人  
全国銀行協会

### 1. お金を使う ②お金をはしく使う

#### 「消費支出」と「非消費支出」

支出には2つの種類があります。  
「消費」に近い、自己用サービスを購入する、あるいは支払われるサービスに  
4分の1は非消費支出です。

消費支出	非消費支出
給料	医療費
住宅	交通・通信
食料・水道	教育
衣類・娯楽用品	税金
税金以外の借入	雑費

消費支出は、消費財・サービスを購入する、あるいは支払われるサービスに4分の1は非消費支出です。

#### 1か月の支出例

1か月の支出は、収入と同額の150,000円です。支出の内訳は、収入の内訳とほぼ同じです。

支出	割合	金額
給料	30%	45,000円
住宅	20%	30,000円
食料・娯楽	8%	12,000円
交通・通信	8%	12,000円
衣料・水道	6%	9,000円
教育・娯楽用品	3%	4,500円
税金以外の借入	3%	4,500円
学費・借入	4%	6,000円
雑費	0%	0円
雑収入	7%	10,500円
貯蓄	15%	22,500円
合計	100%	150,000円

収入 = 支出

#### 必要なもの・欲しいもの

必要なものは、収入に合わせて決めておくことです。  
収入が足りない場合は、収入を増やすか、支出を減らすか、借入が必要になります。

#### 「生活設計」と「マネープラン」

生活設計とは、収入と支出のバランスをとり、必要なものを購入するための計画です。  
マネープランとは、収入と支出のバランスをとり、借入と返済の計画を立てるための計画です。

#### 【生活設計】のポイント

収入と支出のバランスをとり、必要なものを購入するための計画を立てることを目指します。

#### 【マネープラン】のポイント

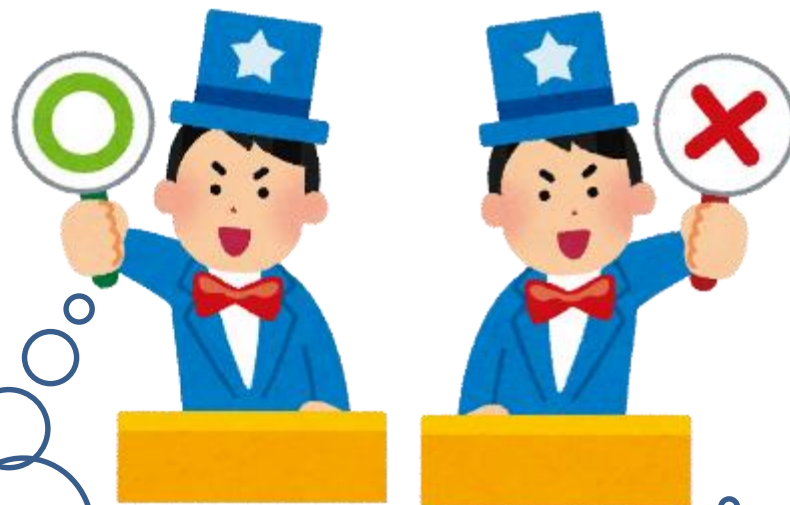
借入と返済の計画を立てることを目指します。

人生に必要なお金(平均費用)

項目	金額
結婚	約15.9万円
子育て	約469.7万円
子育て	約1人811.7万円
住宅購入	約3,955万円

例えば、このような冊子を全国銀行協会が作成したりしています

# 最初に・・・



どんな紙芝居??

児童が興味を持つ内容ってどんなだろう??

二択のクイズ??  
自由に答えてもらう??

提案する金融教材に特に制限は設けません。参加学生さま自身で、児童とのコミュニケーションの中で、児童の声を吸い上げ、金融教材のアイデアへと結びつけていただきたいと思います。

# 最初に・・・

---

## 参加メリット

企画スキル、問題解決スキル、社会問題の理解、クリエイティブな思考、社会でのコミュニケーションスキルetc・・・が身に付くかも！？

・フィールドワークを伴うプロジェクトはたくさんあると思いますが、実社会との連携が必要な為、**珍しい企画**です。

・アドリブワークス、みなと銀行といった実社会に存在する民間企業が講評することで、より実践的な経験になると思っています。

# ■ 目次

---

1. PBL(問題解決型学習)とは
2. あしやキッズスクエアとは
3. チーム構成
4. スケジュールイメージ
5. 訪問イメージ
6. 活動場所
7. 質疑応答

# 1. PBL(問題解決型学習)とは

これまでの知識の詰め込みや暗記中心の  
インプット学習ではなく、自ら問題解決して  
いき発信していく学習法のこと

=結果が正しいかどうかより、その問題解  
決までのプロセスが大切

# 1. PBL(問題解決型学習)とは

PBLは大きく2種類に分かれる

チュートリアル型 

仮想のストーリーをもとにPBLを実施。特定のシチュエーションを設定し、メンバー同士でグループワークを行ったり検討を行う学習方法。こちらの方が実施ハードルが低く、主流。

実践体験型 

実際に社会(民間企業や地方公共団体等の社会活動をしている団体)と連携しながら行う学習方法。実社会で学ぶ為、非常に実践的。責任感、実践で役に立つ知識、統率力など通常の授業で学べること以上の多くのことを学習可能。実社会との連携が必要な為一般的には実施ハードルが高い。

今回はこちら！





# 1. PBL(問題解決型学習)とは

## プロセス

- ① 問題に出会う
- ② どうしたら解決できるかを論理的に(実践的・論理的手法によって)考える
- ③ 相互に話し合い、何を調べるかを明らかにする
- ④ 自主的に学習する
- ⑤ 新たに獲得した知識を問題に適用する
- ⑥ 学習したことを要約する

## 2. あしやキッズスクエアとは

文部科学省「放課後子供教室事業」に基づき、学校の余暇教室を利用し、小学校区を中心とした地域の方に協力を得て、放課後や春、夏、冬休み、代休日等に行なう居場所づくり事業。

〈あしやキッズスクエアの持つ2つの機能〉

児童が自ら考え、遊び、勉強、読書などを行なう居場所づくり機能

宿題をしたり、自由に遊べたりするよ！



地域・企業・NPO・近隣高校大学など多様な人材がスポーツ・文化活動などを通してかかわる体験プログラム機能



企業の人等が組んだプログラムに参加できるよ！

## 2. あしやキッズスクエアとは

### 開催場所

- ・市内全8小学校において実施。(校庭及び敷地内教室など)

### 開催時間

- ・授業のある日:放課後(対象児童授業終了後)～午後5時(11・12月は午後4時30分)
- ・春、夏、冬休み、代休日:午前8時30分～午後5時(11・12月は午後4時30分)

### 対象児童

- ・市内の各小学校区に在住する児童(私立など市外の小学校に通っている児童も対象)

### 休みの日

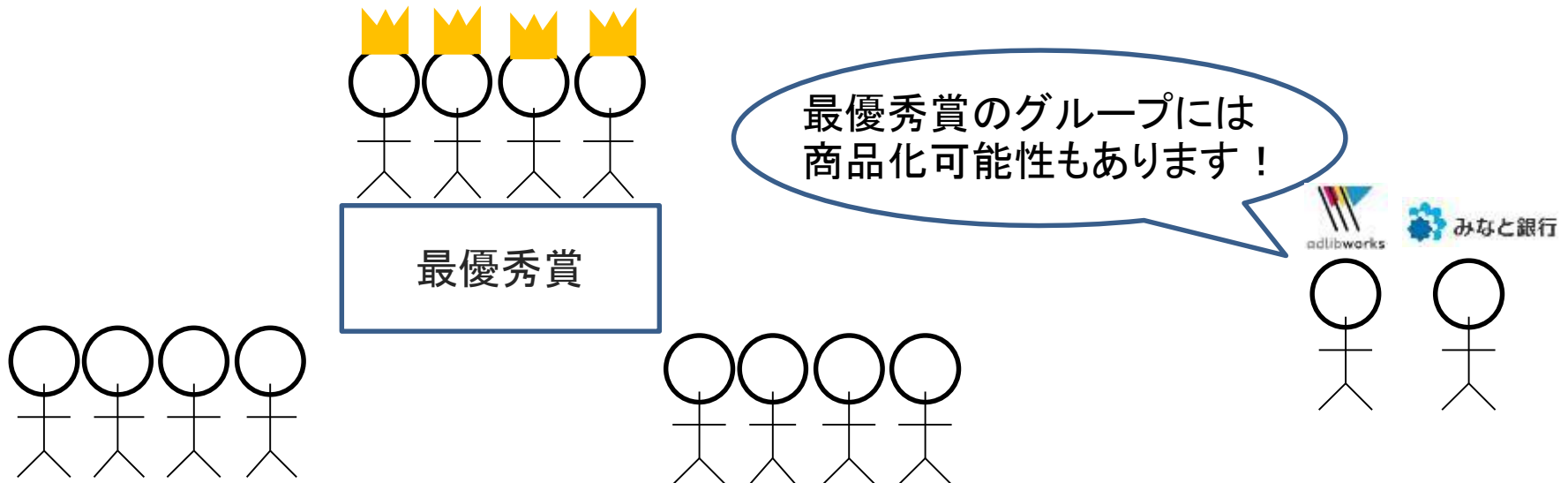
- ・土曜、日曜日 及び国民の祝日に関する法律に規定する休日
- ・お盆期間(8月10～16日)・年末年始期間(12月26～1月5日)
- ・集団下校、運動前日、卒業式など学校の行事
- ・気象警報、感染拡大防止(コロナウイルス感染拡大防止を含む)など

### スタッフ

- ・常時3名のスタッフ(マネージャー1名・安全管理員2名)
- 小学校区内に居住されている方を中心に教員、ボランティア経験、保護者などによって構成  
市内シルバー人材センターに業務委託(キッズスクエア潮見)

### 3. チーム構成

- ・本事業は甲南大学または大学院に通う方が対象です。
- ・募集人数総数は12名で、皆さんには4名ずつのチーム(合計3チーム)に分かれていただき、キッズスクエアに訪問し**児童と自由にコミュニケーションを取っていく中で、児童向け教材を考えてもらいます。**
- ・最終発表では最優秀賞を決めます。発表いただいた内容を民間企業の立場で見せていただき、商品化することも検討しています。  
※必ずしも商品化を保証するものではありません。



## 4. スケジュールイメージ

内容	2022年														
	8月			9月			10月			11月			12月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
①参加者へ通知(メールにて通知)	8/5														
②キッズスクエア訪問前事前レクチャー @大森・みなとビル5FBPK			8/22												
③【第1回】キッズスクエア訪問 @精道or宮川or打出浜小学校			8/23												
④企画考案グループワーク @甲南大学			8/24												
⑤(少なくとも1回)キッズスクエア訪問 @精道or宮川or打出浜小学校															
⑥中間発表・講評 @大森・みなとビル6Fセミナールーム								10/15							
⑦(少なくとも1回)キッズスクエア訪問 @精道or宮川or打出浜小学校															
⑧最終発表・講評 @大森・みなとビル6Fセミナールーム															12/17

◆ ⑦のキッズスクエア訪問の際、少なくとも1回は中間発表の内容で発表したツール等について、キッズスクエアで試行すること。

◆ ⑧の最終発表の際、3つのグループの中で最優秀賞を決める予定です。

## 5. 訪問イメージ

### 《8/22レクチャー》

- ・各グループメンバーの発表。連絡先の交換。



### 《初回キッズスクエア訪問》

- ・みなと銀行or甲南大学担当者が各担当の小学校へ引率

### 《以降》

- ・グループ内で日程調整し、訪問可能日程をみなと銀行まで連絡し、各グループで自由に訪問

※8/22に夏休みに行く日程を1日決めるのがおすすめ。グループ内の何人かで訪問でも可。

※但し、中間発表後は少なくとも1回はキッズスクエアに訪問し、中間発表で示した内容を試行等する。

# 6. 活動場所

【8/22事前レクチャー・10/15中間発表・12/17最終発表】

・大森・みなとビル

事前レクチャー ⇒ 5Fビジネスプラザこうべ

中間発表/最終発表 ⇒ 6Fセミナールーム

住所: 〒650-0015

兵庫県神戸市中央区多聞通2丁目1番2号

交通: JR神戸駅より徒歩3分



<外観>



<5Fビジネスプラザこうべ>



<6Fセミナールーム>

【8/24企画考案グループワーク】

・甲南大学CUBE(西宮キャンパス)

甲南大学 岡本キャンパス iCommons 3階 Union P2、3

住所: 〒663-8204

兵庫県西宮市高松町8丁目33号

交通: 阪急西宮北口駅より徒歩3分



<外観>



<甲南大学 岡本キャンパス  
iCommons 3階 Union P2、3>

## 6. 活動場所(担当する小学校の訪問)





## 7. その他

---

- ・8/22(月)、8/23(火)、8/24(水)、10/15(土)、12/17(土)のスケジュールに参加できることを確認の上、ご応募ください。
- ・上記の他、夏休み中に1回、中間発表～最終発表までに最低1回はキッズスクエア訪問をしてください。
- ・応募理由(200文字)以下はしっかりと埋めるようにしてください。
- ・交通費は基本的には自己負担です。(一部補助を予定)



## 8. 質疑応答

# 質疑応答



左記二次元バーコードから専用フォームにアクセスし、お申込みください。

問い合わせ先(TEL：078-333-3235

E-mail：chiiki@minatobk.co.jp

担当者：みなと銀行 地域戦略部 樋口)

**[申込締切日：8月3日(水) 17時まで]**